



▲村井 スエノ (東陽町河俣)
明治41年12月2日生

スポーツが大好きで、80代後半までは、ゲートボール大会で、毎回メダルをもらって来る程の腕前だったそうです。食べ物の好き嫌いはなく、何でも「おいしい」とうれしそうに話されました。

Town Topics

~まちのわだい~



▲高木 ウメ (井揚町)
明治41年11月21日生

亡くなった御主人から教えてもらった「編み物」が趣味で、去年の春まで毎日朝から晩まで一日中編み物をしていました。月に一度、子どもたちが集まり一緒にご飯を食べるのが、唯一の楽しみだそうです。

★100歳、おめでとうございます

★絢爛豪華な時代絵巻

九州三大祭 八代妙見祭

八代の秋を飾る「八代妙見祭」が、平成20年11月23日に開催され、八代の街は祭りムード一色に染まりました。

22日の御夜では、アトラクションに長崎女子高校による長崎くんち「龍(じゃ)踊り」が特別出演し、「獅子舞」や「亀蛇」と熱演を繰り広げ、見物客は例年と一味違った祭りの雰囲気を楽しんでいました。

23日の神幸行列には、39団体約1,600人が参加し、塩屋八幡宮から八代神社までの約6kmを練り歩き、八代駅前や砥崎河原では、獅子舞や祭りの人気者「亀蛇」による演舞、神馬や飾馬による馬追いが披露され、観客から大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

なお、八代神社祭礼神幸行列保存会(会長緒方學)は、平成20年熊本県文化財保護功労者を受賞されました。



★捨てる前に、再利用！
オリジナルマイバッグコンテスト



▲左から：米 みちよさん（古閑中町）平川紀美子さん（永碓町）中路博子さん（西宮町）

八代市で、市民から募集した「オリジナルマイバッグコンテスト」の表彰式が、平成20年11月13日、市長応接室で行われました。

地球温暖化対策の一つとして、レジ袋をもらわないことに努める「マイバック運動」。最優秀賞に輝いた米みちよさんの作品は、アイデア・デザイン・機能の全てにおいて非常に優れ、容量・丈夫さも備わっているものでした。坂田市長から「どの作品もすばらしい物ばかり。環境に対しての役割は大きなものだと思います。」と話があり、これからも広く普及していくことが期待されています。

★い草和紙の卒業証書づくり
千丁小学校6年生



▲い草和紙の卒業証書づくりの様子

平成20年11月21日、千丁小学校6年生の生徒64人とその保護者による、い草和紙の卒業証書と畳表を使用した証書包みづくりが行われました。

この卒業証書づくりは今年で10年目を迎え、これまで約680人の卒業生が自分ですいたい草和紙の卒業証書を手に学び舎を巣立って行きました。

生徒たちは、今年も、徳澄幸治さん（金剛校区在住）の指導を受けながら、自分だけの卒業証書づくりに生徒たちも真剣に取り組んでいました。

★元気づくりアドバイザー
土山氏へ委嘱状を交付



▲委嘱状を受けられた土山憲幸さん（坂本町出身）

平成20年11月26日、本市の市政全般における課題などについて専門的な知識及び経験を有する方々に助言をいただく「元気づくりアドバイザー」に、その第1号として、坂本町出身で赤坂プリンスホテル総料理長を務め、現在、ホテル熊本テルサ支配人の土山憲幸さんに委嘱状が渡されました。

坂田市長から委嘱状を受け取った土山さんは「良い食材を探さないと、おいしい料理は出来ない。良い食材の多い八代ですので、後は、それをどう広げるかだと思います。」と、物産館の商品開発にも意欲を持たれていました。

★交通安全の輪を広げよう!!
第36回八代市高齢者交通事故防止大会



▲シートベルトコンビンサーでの衝突体験

平成20年11月27日、やつしろハーモニーホールで、八代市老人クラブ連合会と八代市主催による「八代市高齢者交通事故防止大会」が開催されました。

この大会36回目を迎え、これだけ続いている大会は県内でもめずらしいとのこと。坂田市長から「市民の皆さんが相手の気持ちを思いやり、交通事故のない町づくりを推進して行きましょう。」と、祝辞が述べられました。

会場では、衝突体験や、運転適正診断、交通事故の危険性をスクリーンで体験できる歩行者教育システムなどの体験型講習も行われ、「ちょっと注意すれば事故は防げる」と、再認識させられた一日でした。

★温かい善意の寄付 ありがとうございます



平成20年12月4日、日蓮宗三ヶ寺（宗覚寺・本成寺・浄信寺）から共同募金へ托鉢の収益金の一部が寄付されました。
（平成20年度で28回目）



平成20年12月4日、国際ソロプチミスト八代から「子どもたちの環境学習に役立てていただきたい」と、チャリティーバザー収益金の一部を市に寄付されました。
（平成20年度で11回目）



平成20年12月5日、市内在住の谷口さんが、八代市の発展や社会に役立ててほしいと坂田市長に多額の寄付を手渡されました。
（平成20年度で2回目）

★八代から国民文化祭へ

藤間幹崇氏（日本舞踊 藤間流）・秀岳館高等学校和太鼓部「雅太鼓」



▲舞台上踊りを披露する藤間幹崇氏

11月に茨城県で開催された「第23回国文化祭・いばらぎ2008」に長唄「風流船揃」で出演した、日本舞踊・藤間流の藤間幹崇氏が12月4日、市長を表敬訪問しました。

八代市千反町在住の藤間幹崇氏は、昭和60年に藤間流へ入門。平成7年に師範となり、門弟の育成や子どもたちの指導などに力を注がれています。

また、同文化祭には、秀岳館高等学校和太鼓部伝承芸能雅太鼓も出場しました。

★もちつきで「火災に気をつけて」

八代広域幼年少年婦人防火委員会主催



平成20年12月7日、今年で12回目となる「防火もちつき大会」がゆめタウン八代で開催されました。

八代広域幼年少年婦人防火委員会が主催し、八代市消防団の皆さんなどの協力で実施され、会場を訪れた子どもたちも楽しそうに、もちつきを楽しみました。

できたての紅白の餅は多くの来場者に無料で配られ、年末年始における防火意識を高め、火の取り扱いに注意を呼びかけました。

★福祉の里づくりを目指して 八代市ふれあいフェスタ開催



平成20年11月22日、やつしろハーモニーホールで「八代市ふれあいフェスタ」が開催され多くの来場者で賑わいました。

金剛みどり保育園園児による和太鼓で幕を開け、講演会では旅役者の玄海竜二さんが「我が人生 旅芝居」と題し、「旅役者こそ演劇の原点だということを中央に認めさせようがんばってきた。これからも大好きな熊本から全国に発信していきたい」と話されました。

講演後は、ふれあい音楽発表会が開催され、地域の人たちと障害をもつ人たちの交流ステージとして、合唱・合奏やダンスなどが披露されました。

また、市内の福祉団体や施設での、日頃の活動成果や、作品の展示・販売も行われたほか、盲人協会によるマッサージや健康チェック、健康相談も実施されました。

★ふるさとのまちを描く



▲左：八代亜紀大賞に選ばれた上村優利香さん

今年で6回目となる「八代亜紀絵画コンクール」の表彰式が、平成20年11月14日、やつしろハーモニーホールで開催されました。

コンクールには、「学生の部」に666点、「一般の部」に23点の応募があり、八代亜紀賞に選ばれた11人と入選の17人が表彰されました。また、八代亜紀賞の中から八代さん本人が選出した「八代亜紀大賞」には、八代四中3年の上村優利香さんが選ばれました。

★街並みに3万個の輝き
ファンタジーロード



▲美しいイルミネーションのもとでミニコンサート

出町から通町にかけての道路沿いに美しいイルミネーションが点灯され、冬の街並みに彩りを添えました。

年末の恒例行事となった「ファンタジーロード in 出町 & 通町」は、平成20年12月1日に点灯式が行われ、参加者たちのカウントダウンで約3万個の発光ダイオードが点灯。ぜんざいの振るまいやミニコンサートも開催され、幻想的な輝きが年末まで人びとの目を楽しませました。

★V2の次は全国入賞
坂本中男子駅伝チーム



▲坂本中学校男子駅伝チームのメンバー10人と坂田市長（左）

平成20年11月12日に天草市で開催された県中学校駅伝大会を連覇で制した坂本中学校男子駅伝チームが、11月25日、市役所を訪問し、市長に九州大会と全国大会への出場を報告しました。

訪問を受けた坂田市長は「打倒坂本中で挑んでくる他校を退けての連覇は大きな功績」と選手達を賞賛。主将の木本誠くん（3年）は「全国大会では入賞を目指したい」と決意を新たにしました。

★自分たちの町は、
自分たちで守ろう！



▲初めて消化器を使う子どもたち

大規模災害発生時を想定して、地域住民相互の「自助・共助」の防災体制の確立を図るため、平成20年11月30日、松高校区住民参加型防災訓練が松高小学校グラウンドで行われました。

地域住民や関係者約800人が、避難誘導や救急救命、炊き出し、初期消火などいざという時の防災行動力を高める各種の訓練に真剣に取り組みました。